

令和6年度 岡山県主催

入場無料

強度行動障害

のある人への支援をみんなで考える

シンポジウム in 岡山

～支援からの産物～

日時 令和7年 **1月18日** (土)

13:00～16:30 (開場12:20) 定員120名

場所 **岡山県医師会館** 4階 401会議室

岡山市北区駅元町19-2

※駐車場はありません。お車は近くのコインパーキング等をご利用ください

プログラム

はじめに

「強度行動障害支援の基本」 13:00～13:30

基調講演 13:30～14:30

「私が行動障害のある人から教わったこと」

福島 龍三郎 氏

社会福祉法人はる 理事長

シンポジウム 14:40～16:20

「強度行動障害支援から得られる産物とは」



横山 竜也

社会福祉法人弘徳学園
おかやま共育・共働センター
でんでん管理者



勢村 真里

児童発達支援
放課後等デイサービス
ワルツ所長



福島 龍三郎

社会福祉法人はる
理事長



川西 大吾

社会福祉法人 旭川荘
研修センター 副所長

強度行動障害のある人への支援
実は「やりがい」「喜び」「感動」など、
自分が成長するうえでたくさんの「産物」を頂けるのです。

強度行動障害とは

人に対して叩く、噛みつく、頭突きする。自分の顔が腫れあがるまで何度もたたき続ける、壁や窓ガラスに思い切り自分の頭を打ち付ける、1日のうち何度も大声を張り上げる。

通常の支援ではなかなか対応が難しい行動が表れている状態を「行動障害」または「強度行動障害」と呼びます。

行動障害を表している人は、人を困らせたいがために行っているのではなく、自分の中の不安や混乱が極限に達した時に、このような形で表出されるのです。正しくは、行動障害でしか自分の生きづらさを表現する方法がない状況に陥っているのです。

今回のシンポジウムでは、この強度行動障害の支援にスポットを当て、その背景にある要因、また効果的な支援の考え方など、一般の方でも分かりやすいように専門用語を使わず伝えていき、みんなで考え、多様性を認め合える社会を築く第一歩にしていきたいと思います。また困難さばかりが表面化される強度行動障害のある人への支援ですが、得られることも多大で、支援者の支援力の向上だけでなく、人間としての成長も大いに期待できます。一人でも多くの方に知っててもらいたい内容です。お時間のある方はぜひ会場へ足を運んでください。入場は無料です。

こんな方におすすめ

- ・ 実際、行動障害のある人への支援で悩んでいる。
- ・ 直接関係はないが、行動障害のある人への支援方法を知りたい。
- ・ 現場で支援の統一を図りたいが、なかなかうまくいかず、悩んでいる。
- ・ 知らないうちに、何事も起こらないことが一日の仕事の目標になっている。
- ・ 強度行動障害の支援から得られる良いことを知りたい。

申し込み方法

(入場無料)

※申し込み多数の場合はお断りの連絡をさせていただく場合があります。お早めの申し込みをお勧めします(定員に達し次第、締め切らせていただきます)。

申し込み締め切り 令和6年12月25日(水) 定員120名

<https://forms.gle/v2jAVQxSHuq5Ei5G7>

パソコン、スマートフォン、FAXでお申し込みください。



申し込みFAX番号 086-224-6520

申し込みQRコード

所属 (個人の場合は「個人」)	(フリガナ) 氏名	連絡先	
		①メールアドレス	②電話番号
		①	②
		①	②
		①	②
質問事項			

記入いただいたメールアドレス、電話番号等の個人情報は、本シンポジウムに関する連絡のみに使用します

お問い合わせ 岡山県障害福祉課 Tel 086-226-7345 (池上)